

江別市子ども・子育て支援に関するニーズ調査

～「第2期江別市子ども・子育て支援事業計画」策定に向けた利用希望把握調査～

【就学前子ども用】

【調査ご協力のお願い】

日頃から、市政の運営にご理解・ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、国は平成27年4月に「子ども・子育て関連3法」を施行したところであり、各市町村は子育てをめぐる今日的課題を解決するために「子ども・子育て支援事業計画」を策定し、各種施策・事業を展開しているところです。

この度、2020年度からの5年間を計画期間とする「第2期江別市子ども・子育て支援事業計画」を策定するにあたり、市民のみなさんにニーズ調査を実施しご意見をお聞かせいただき、計画に反映させていきたいと考えております。

ご回答いただいた調査内容は、今回の計画策定のみ利用させていただくものであり、回答者個人が特定されたり、他の目的に利用したりすることは一切ございません。

ご多忙のこととは存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、期日までにご回答くださいますよう、よろしくお願いいたします。

平成30年11月

江別市長 三好 昇

【ご記入にあたっての注意】

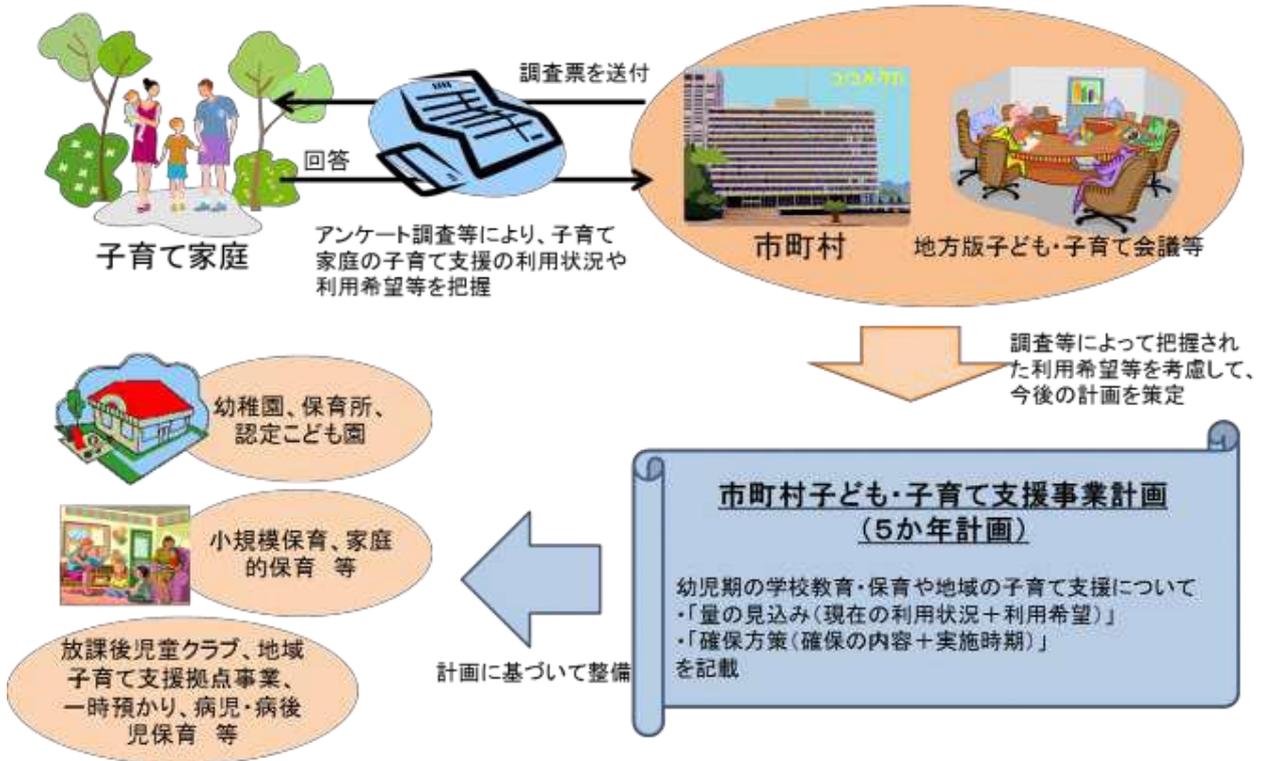
1. 宛名のお子さんについて保護者等の方がご記入ください。
2. ご回答は、選択肢に○印をつけてお選びいただく場合と、数字などをご記入いただく場合があります。
3. 選択肢の場合、お選びいただく数が設問によって異なりますので質問に従ってご回答ください。また、「その他」をお選びいただいた場合は、その後にある（ ）内に具体的な内容をご記入ください。
4. 数字で時間（時刻）をご記入いただく場合は、24時間制（例：午後6時⇒18時）で、また、数字は一枠に一字でご記入ください。
5. ご記入が済みましたら、同封の返信用封筒に入れて12月14日（金）までにご投函くださいますようお願いいたします。
6. ご回答いただく上でご不明な点、調査に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。



《お問い合わせ先》

江別市 健康福祉部子育て支援室子育て支援課計画担当 電話：011-381-1408（直通）

いただいた回答は地域の子育て支援の充実に生かされます



【子ども・子育て支援新制度の考え方】

平成27年度から実施された「子ども・子育て支援新制度」は、以下のような考え方に基づいています。

- 一人ひとりの子どもが健やかに成長することができる社会を実現する。
- 子どもが自己肯定感を持って育まれる環境を整備する。
- 保護者には子育てについての第一義的責任があることを前提としつつ、地域や社会が保護者に寄り添い、子育てに対する負担や不安、孤立感を和らげることを通じて、保護者が親として子どもに関わることに喜びを感じながら、子どもと向き合える環境を整え、親としての成長を支援し、子育てや子どもの成長に喜びや生きがいを感じることができるような支援を目指す。

お住まいの地域

問1 どちらにお住まいですか。()に町名を記入してください。(例：高砂町、新栄台)

江別市()

お子さんご家族の状況

問2 宛名のお子さんの生年月日は、次のうちのどれに該当しますか。(1つに○)

- | | |
|----------------------|----------------------|
| 1. 平成30年4月2日～31年4月1日 | 2. 平成29年4月2日～30年4月1日 |
| 3. 平成28年4月2日～29年4月1日 | 4. 平成27年4月2日～28年4月1日 |
| 5. 平成26年4月2日～27年4月1日 | 6. 平成25年4月2日～26年4月1日 |

問3 お子さんは、兄弟姉妹を含め全部で何人いらっしゃいますか。

きょうだい数： 人 末子の生年月：平成 年 月生まれ

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。(1つに○)

- | | | | |
|-------|-------|--------|-----------|
| 1. 母親 | 2. 父親 | 3. 祖父母 | 4. その他() |
|-------|-------|--------|-----------|



問5 問4で「1、2」に○をつけた方にうかがいます。配偶関係についてお答えください。(1つに○)

- | | |
|-----------|------------|
| 1. 配偶者がいる | 2. 配偶者はいない |
|-----------|------------|

問6 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。(1つに○)

- | | | |
|----------|-----------|---------|
| 1. 父母ともに | 2. 主に母親 | 3. 主に父親 |
| 4. 主に祖父母 | 5. その他() | |

子どもの育ちをめぐる環境

問7 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方は、どなた（どこ）ですか。（当てはまるものすべてに○）

- | | | | | |
|----------|-----------|---------|--------|--------|
| 1. 父母ともに | 2. 母親 | 3. 父親 | 4. 祖父母 | 5. 幼稚園 |
| 6. 保育園 | 7. 認定こども園 | 8. その他（ | ） | |

問8 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に影響すると思われる環境についてお答えください。（当てはまるものすべてに○）

- | | | | |
|-----------|---------|--------|--------|
| 1. 家庭 | 2. 地域 | 3. 幼稚園 | 4. 保育園 |
| 5. 認定こども園 | 6. その他（ | ） | |

問9 ご両親とは別に、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。（当てはまるものすべてに○）

- | | |
|------------------------------------|------------|
| 1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる | } ⇒ 問9-1 へ |
| 2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる | |
| 3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる | } ⇒ 問9-2 へ |
| 4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる | |
| 5. いずれもない | ⇒ 問10 へ |

問9-1 問9で「1」または「2」に○をつけた方にうかがいます。祖父母等の親族にお子さんをみてもらう際の状況についてお答えください。（当てはまるものすべてに○）

- | | |
|---|---|
| 1. 祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる | |
| 2. 祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である | |
| 3. 祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である | |
| 4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい | |
| 5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある | |
| 6. その他（ | ） |

⇒ 問10 へ

問9-2 問9で「3」または「4」に○をつけた方にうかがいます。友人・知人にお子さんをみてもらう際の状況についてお答えください。（当てはまるものすべてに○）

- | | |
|---|---|
| 1. 友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる | |
| 2. 友人・知人の身体的負担が大きく心配である | |
| 3. 友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である | |
| 4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい | |
| 5. 子どもの教育や発育にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある | |
| 6. その他（ | ） |

お子さんの保護者(母親)の就労状況
【父子家庭の場合は記入は不要です】

問 13 母親の現在の就労状況（自営業等含む）についてうかがいます。（1つに○）

※ 産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の就労状況についてお答えください。

フルタイムで就労している （1週5日程度・1日8時間程度）	1. 産休・育休・介護休業中ではない 2. 産休・育休・介護休業中である	⇒問 13-1 へ
パート・アルバイト等で就労している （「フルタイム」以外の就労）	3. 産休・育休・介護休業中ではない 4. 産休・育休・介護休業中である	
その他	5. 以前は就労していたが、現在は就労していない 6. これまで就労したことがない	⇒問 13-4 へ

問 13-1 問 13で「1～4」に○をつけた方にうかがいます。1週当たりの「平均就労日数」、1日当たりの「平均就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。

1週当たり： 日 1日当たり： 時間

問 13-2 問 13で「1～4」に○をつけた方にうかがいます。平均的な家を出る時間と帰宅時間をお答えください。

家を出る時間： 時 帰宅時間： 時

問 13-3 問 13で「3」または「4」に○をつけた方にうかがいます。フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度）への就労希望はありますか。（1つに○）

1. フルタイムへの就労希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイムへの就労希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続ける
4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）をやめて子育てや家事に専念したい

問 13-4 問 13で「5」または「6」に○をつけた方にうかがいます。就労の希望はありますか。（1つに○、当てはまる番号の口内に数字をご記入ください。）

1. 子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）

2. 一番下の子どもが 歳になったころに就労したい

3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい
→希望する就労形態

ア. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）
イ. パートタイム、アルバイト等（「ア」以外）

→1週当たり 日 1日当たり 時間

お子さんの保護者(父親)の就労状況
【母子家庭の場合は記入は不要です】

問 14 父親の現在の就労状況（自営業等含む）についてうかがいます。（1つに○）

※ 育休・介護休業中の方は、休業に入る前の就労状況についてお答えください。

フルタイムで就労している （1週5日程度・1日8時間程度）	1. 育休・介護休業中ではない 2. 育休・介護休業中である	⇒問 14-1 へ
パート・アルバイト等で就労している （「フルタイム」以外の就労）	3. 育休・介護休業中ではない 4. 育休・介護休業中である	
その他	5. 以前は就労していたが、現在は就労していない 6. これまで就労したことがない	⇒問 14-4 へ

問 14-1 問 14 で「1～4」に○をつけた方にうかがいます。1週当たりの「平均就労日数」、1日当たりの「平均就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。

1週当たり： 日 1日当たり： 時間

問 14-2 問 14 で「1～4」に○をつけた方にうかがいます。平均的な家を出る時間と帰宅時間をお答えください。

家を出る時間： 時 帰宅時間： 時

問 14-3 問 14 で「3」または「4」に○をつけた方にうかがいます。フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度）への就労希望はありますか。（1つに○）

1. フルタイムへの就労希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイムへの就労希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続ける
4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）をやめて子育てや家事に専念したい

問 14-4 問 14 で「5」または「6」に○をつけた方にうかがいます。就労の希望はありますか。（1つに○、当てはまる番号の□内には数字でご記入ください。）

1. 子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）

2. 一番下の子どもが 歳になったころに就労したい

3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい
→希望する就労形態

ア. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）
イ. パートタイム、アルバイト等（「ア」以外）
→1週当たり 日 1日当たり 時間



お子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況

※ここでいう「定期的な教育・保育事業」とは、月単位で定期的に利用している事業を指します。具体的には、幼稚園や保育園など、問 15-1 に示した事業が含まれます。

問 15 宛名のお子さんは現在、幼稚園や保育園などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。（1つに○）

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| 1. 利用している ⇒ 問 15-1 へ | 2. 利用していない ⇒ 問 15-4 へ |
|----------------------|-----------------------|

問 15 で「1」に○をつけた方にうかがいます。

問 15-1 宛名のお子さんは、平日どのような教育・保育事業を利用していますか。年間を通じて「定期的」に利用している事業をお答えください。（当てはまるものすべてに○）

1. 幼稚園 (通常の就園時間の利用)	2. 幼稚園の預かり保育 (通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ)
3. 認可保育園 (国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員 20 人以上のもの)	4. 認定こども園 (幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設)
5. 小規模保育施設 (国が定める最低基準に適合した施設で市町村の認可を受けた定員が概ね 6~19 人のもの)	6. 家庭的保育 (保育者の家庭等で 5 人以下の子どもを保育する事業)
7. 事業所内保育施設 (企業が主に従業員用に運営する施設)	8. その他の認可外の保育施設
9. ファミリー・サポート・センター (地域住民が子どもを預かる事業)	10. その他 ()

【参考】市内施設一覧

幼稚園	江別大谷幼稚園、上江別幼稚園、江別あかしゃ幼稚園、のっぽろ幼稚園、元野幌めぐみ幼稚園、大麻ひかり幼稚園、大麻藤幼稚園
認可保育園	よつば保育園、やよい保育園、愛保育園、あかしゃ保育園、わかば保育園、誠染保育園
認定こども園	あすかの森認定こども園、おおあさ認定こども園、認定こども園あけぼの、認定こども園大麻まんまるこども園、認定こども園元江別わかば幼稚園、第 2 大麻こども園、認定こども園もりのひだまり、認定こども園若葉幼稚園
小規模な保育施設	ニチキッズえべつ駅前保育園、ニチキッズのっぽろ駅前保育園、すまいるのっぽろ保育園、ぞうさんハウス、ふくろうの森、わくわく中央保育園
家庭的保育	きみのいえ家庭的保育園
事業所内保育施設	コープさっぽろ保育園白樺 aurinko、結いの家保育園、ヤクルト乳幼児保育クラブぞうさん
認可外の保育施設	きつぱーく元江別園、こひつじ、のっぽろりんりん保育室、えべつなのはな保育園、くさか乳幼児園、北光保育園、野幌季節保育所

問 15-2 現在、利用している幼稚園・保育園などの利用時間はどのくらいですか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。

(1) 現在の利用時間

1週当たり：	<input type="text"/> 日	1日当たり：	<input type="text"/> <input type="text"/> 時間	(<input type="text"/> <input type="text"/> 時	～	<input type="text"/> <input type="text"/> 時)
--------	------------------------	--------	--	---	---	---	--

(2) 希望する利用時間 ※上記と同じ場合は記載不要です。

1週当たり：	<input type="text"/> 日	1日当たり：	<input type="text"/> <input type="text"/> 時間	(<input type="text"/> <input type="text"/> 時	～	<input type="text"/> <input type="text"/> 時)
--------	------------------------	--------	--	---	---	---	--

問 15-3 幼稚園・保育所などを利用されている理由は何ですか。(1つに○)

1. 子どもの教育や発達のため	2. 就労しているため
3. 就労予定がある／求職中であるため	4. 家族・親族などを介護しているため
5. 病気や障がいがあるため	6. 学生であるため
7. その他 ()

問 15で「2. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。

問 15-4 利用していない理由は何ですか。(当てはまるものすべてに○)

1. 利用する必要がない	
2. 子どもの祖父母や親戚の人がみている	
3. 近所の人や父母の友人・知人がみている	
4. 保育園などに空きがない	
5. 経済的な理由で事業を利用できない	
6. 延長・夜間等の時間帯の条件が合わない	
7. 事業の質や場所など、納得できる事業がない	
8. 子どもがまだ小さいため (<input type="text"/> 歳くらいになったら利用しようと考えている)	
9. その他 ()

お子さんの地域の子育て支援事業の利用状況

問 17 宛名のお子さんは現在、地域子育て支援拠点事業（子育て支援センターや地域の遊びのひろば）を利用していますか。（当てはまるものに○をつけ、おおよその利用回数を □ 内に数字でご記入ください。）

1. 地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をする場）	
1週当たり： □ 回	もしくは1ヶ月当たり： □ 回 程度
2. その他市で実施している類似の事業（具体名： _____ ）	
1週当たり： □ 回	もしくは1ヶ月当たり： □ 回 程度
3. 利用していない	

問 18 問 17 のような地域子育て支援拠点事業について、今後は利用したり、利用日数を増やしたりしたいと思いませんか。（当てはまるもの1つに○をつけ、おおよその利用回数を □ 内に数字でご記入ください。）

1. 利用していないが利用したい	
1週当たり： □ 回	もしくは1ヶ月当たり： □ 回 程度
2. すでに利用しているが利用日数を増やしたい	
1週当たり更に □ 回	もしくは1ヶ月当たり更に □ 回 程度
3. 新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない	

問 19 下記の事業で知っている、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。①～⑧の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。

事業	A 知っている		B 利用している/ 利用したことがある		C 今後利用したい	
	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
①マタニティスクール・両親学級	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
②保健センターの育児相談・親子健康相談・家庭訪問相談	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
③子育て支援コーディネーターの相談	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
④子どもの発達相談	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
⑤主任児童委員による地域の子育て相談	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
⑥家庭児童相談	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
⑦児童センター・児童館	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
⑧子育て情報誌『ホップステップえべつ』	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ

お子さんの病気の際の対応 (平日の幼稚園・保育園などを利用する方のみ)

問 22 平日の定期的な教育・保育の事業を利用していると答えた方（問 15 で 1 に ○ をつけた方）にうかがいます。この 1 年間に、宛名のお子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか。

1. あった ⇒ 問 22-1 へ 2. なかった ⇒ 問 23 へ

問 22-1 宛名のお子さんが病気やけがで幼稚園・保育園などが利用できなかった場合に、この 1 年間のどのようにされましたか。（当てはまるものすべてに ○ をつけ、日数を □ 内に数字でご記入ください。半日も 1 日とカウント）。

	日	数	
ア. 父親が休んだ	□	□	⇒問 22-2 へ
イ. 母親が休んだ	□	□	
ウ. (同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった	□	□	⇒問 22-5 へ
エ. 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	□	□	
オ. 病児・病後児の保育を利用した	□	□	
カ. ベビーシッターを利用した	□	□	
キ. ファミリー・サポート・センター、緊急サポートネットワークを利用した	□	□	
ク. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	□	□	
ケ. その他 ()	□	□	

問 22-1 で「ア」「イ」のいずれかに回答した方にうかがいます。

問 22-2 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。
(1 つに ○ をつけ、日数を口内に数字でご記入ください。)

1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい ⇒ □ □ 日 ⇒ 問 22-3 へ
2. 利用したいとは思わない ⇒ 問 22-4 へ

問 22-3 問 22-2 で「1」に ○ をつけた方にうかがいます。上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。（当てはまるものすべてに ○）

1. 幼稚園・保育園等に併設した施設で子どもを保育する事業
2. 小児科に併設した施設で子どもを保育する事業
3. 小規模施設で子どもを保育する事業（例：子育て支援センター等）
4. その他 ()

⇒ 問 23 へ

一時預かり等の利用

問 23 宛名のお子さんについて、この1年間に私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。

(当てはまるものすべてに○をつけ、□内に数字でご記入ください。)

利用している事業・日数(年間)	
1. 一時預かり (私用など理由を問わずに保育園などで一時的に子どもを保育する事業)	□ □ 日
2. 幼稚園の預かり保育 (通常の就園時間を延長預かる事業のうち不定期に利用する場合のみ)	□ □ 日
3. ファミリー・サポート・センター (地域住民が子どもを預かる事業)	□ □ 日
4. 夜間養護等事業：トワイライトステイ (児童養護施設等で休日・夜間、子どもを保護する事業)	□ □ 日
5. その他 ()	□ □ 日
6. 利用していない	⇒ 問 23-1 へ

⇒ 問 24 へ

問 23-1 問 23 で「6」と回答した方にうかがいます。現在利用していない理由は何ですか。(当てはまるものすべてに○)

1. 特に利用する必要がない	2. 地域の事業の質に不安がある
3. 地域の事業の利便性(立地や利用可能時間・日数など)がよくない	
4. 利用料がかかる・高い	
5. 自分が事業の対象者になるのかわからない	
6. 利用方法(手続き等がわからない)	
7. その他 ()	

問 24 宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。(当てはまるものすべてに○をつけ、必要な日数を □ 内に数字でご記入ください。)

1. 利用したい	計 □ □ 日
ア. 私用(買物、子どもく兄弟姉妹を含む)や親の習い事等)、リフレッシュ目的	□ □ 日
イ. 冠婚葬祭、学校行事、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の通院 等	□ □ 日
ウ. 不定期の就労	□ □ 日
エ. その他 ()	□ □ 日
2. 利用する必要はない	
⇒ 問 25 へ	

⇒ 問 24-1 へ

問 24-1 問 24 で「1」に○をつけた方にうかがいます。問 24 の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。（当てはまるものすべてに○）

- | |
|--|
| 1. 大規模施設で子どもを保育する事業（例：幼稚園・保育園等） |
| 2. 小規模施設で子どもを保育する事業（例：子育て支援センター等） |
| 3. 地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業（例：ファミリー・サポート・センター等） |
| 4. その他（ ） |

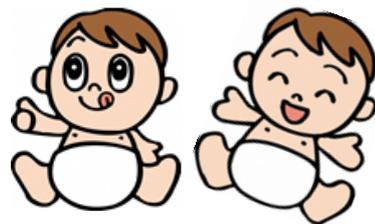
問 25 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか。（当てはまるものすべてに○をつけ、1年間のおおよその利用日数を □ 内に数字でご記入ください。）

	1年間の対処方法	日数
1. あった	ア.（同居者を含む）親族・知人にみてもらった	□ □ 泊
	イ. 子育て支援短期利用事業（ショートステイ）を利用した（児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業）	□ □ 泊
	ウ. イ以外の保育事業（認可外保育施設、ベビーシッター等）を利用した	□ □ 泊
	エ. 仕方なく子どもを同行させた	□ □ 泊
	オ. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	□ □ 泊
	カ. その他（ ）	□ □ 泊
2. なかった		

→問 25-1 へ

問 25-1 問 25 で「ア」に○をつけた方にうかがいます。その場合の困難度はどの程度でしたか。（1つに○）

- | | | |
|----------|--------------|-------------|
| 1. 非常に困難 | 2. どちらかという困難 | 3. 特に困難ではない |
|----------|--------------|-------------|



お子さんが5歳の方に、小学校就学後の 放課後の過ごし方についてうかがいます。

⇒ 5歳未満の方は、問 28 へ

問 26 宛名のお子さんが小学校に入ったら、放課後の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。（当てはまるものの1週あたりの日数や時間について □ 内に数字をご記入ください。）

希望する場所【複数選択可】	週当たりの希望日数 【数字を記入】	
	1～3年生までの間	4～6年生までの間
1. 自宅	週 <input type="text"/> 日くらい	週 <input type="text"/> 日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週 <input type="text"/> 日くらい	週 <input type="text"/> 日くらい
3. 習い事（スポーツ、塾など）	週 <input type="text"/> 日くらい	週 <input type="text"/> 日くらい
4. 児童センター・児童館 ※1	週 <input type="text"/> 日くらい	週 <input type="text"/> 日くらい
5. 放課後児童クラブ ※2 (学童保育・放課後児童会)	➡ 下校時から <input type="text"/> <input type="text"/> 時まで 週 <input type="text"/> 日くらい	➡ 下校時から <input type="text"/> <input type="text"/> 時まで 週 <input type="text"/> 日くらい
6. ファミリー・ホール・センター	週 <input type="text"/> 日くらい	週 <input type="text"/> 日くらい
7. その他（公民館、公園など）		

※1：児童館で行う放課後児童クラブを利用している場合は「5」に回答

※2：「放課後児童クラブ」：保護者が就労等により昼間家庭にいない場合などに、指導員のもと、子どもの生活の場を提供するものです。



問 27 問 26 で「5」に○をつけた方にうかがいます。土曜日、日曜・祝日、長期の休み（春・夏・冬休み）について、それぞれの期間における放課後児童クラブの利用希望と利用したい時間帯をお答えください。

	利用希望の有無 【1つ選択】	利用希望時間 【数字を記入】
土曜日	1. 低学年（1～3年生）の間だけ利用したい 2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい 3. 利用する必要はない	利用したい時間帯 <input type="text"/> <input type="text"/> 時から <input type="text"/> <input type="text"/> 時まで
日・祝日	1. 低学年（1～3年生）の間だけ利用したい 2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい 3. 利用する必要はない	利用したい時間帯 <input type="text"/> <input type="text"/> 時から <input type="text"/> <input type="text"/> 時まで
長期の休み (春・夏・冬休み)	1. 低学年（1～3年生）の間だけ利用したい 2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい 3. 利用する必要はない	利用したい時間帯 <input type="text"/> <input type="text"/> 時から <input type="text"/> <input type="text"/> 時まで

育児休業や短時間勤務制度など、職場の両立支援制度について

(すべての方にかがいます)

問28 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけ、該当する口内に数字をご記入ください(数字は一枠に一字)。また、取得していない方はその理由をご記入ください。

母親 (いずれかに○)	父親 (いずれかに○)
1. 働いていなかった 2. 取得した (取得中である) 3. 取得していない ⇒	1. 働いていなかった 2. 取得した (取得中である) 3. 取得していない ⇒
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 取得していない理由(下から番号を選んでご記入ください) (いくつでも) </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 取得していない理由(下から番号を選んでご記入ください) (いくつでも) </div>

1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった
 2. 仕事が忙しかった
 3. (産休後に) 仕事に早く復帰したかった
 4. 仕事に戻るのが難しそうだった
 5. 昇給・昇格などが遅れそうだった
 6. 収入減となり、経済的に苦しくなる
 7. 保育園などに預けることができた
 8. 配偶者が育児休業制度を利用した
 9. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった
 10. 子育てや家事に専念するため退職した
 11. 職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)
 12. 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった
 13. 育児休業を取得できることを知らなかった
 14. 産前産後の休暇(産前6週間、産後8週間)を取得できることを知らず、退職した
 15. その他()

問28で「2. 取得した(取得中である)」と回答した方にかがいます。

⇒ 該当しない方は、問29へ

問28-1 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親

1. 育児休業取得後、職場に復帰した
2. 現在も育児休業中である
3. 育児休業中に離職した

(2) 父親

1. 育児休業取得後、職場に復帰した
2. 現在も育児休業中である
3. 育児休業中に離職した

問 28-1 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

問 28-2 育児休業からは、「実際」に宛名のお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。□内に数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。

(1) 母親

実際の取得期間	<input type="text"/> 歳 <input type="text"/> <input type="text"/> ヶ月	希望	<input type="text"/> 歳 <input type="text"/> <input type="text"/> ヶ月
---------	---	----	---

(2) 父親

実際の取得期間	<input type="text"/> 歳 <input type="text"/> <input type="text"/> ヶ月	希望	<input type="text"/> 歳 <input type="text"/> <input type="text"/> ヶ月
---------	---	----	---

問 28-2 で実際の復帰と希望が異なる方にうかがいます。

問 28-3 希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。

(1) 「希望」より早く復帰した方 ※当てはまる番号すべてに○をつけてください。

①母親

1. 希望する保育園に入るため	2. 配偶者や家族の希望があったため
3. 経済的な理由で早く復帰する必要がある	4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため
5. その他 ()	

②父親

1. 希望する保育園に入るため	2. 配偶者や家族の希望があったため
3. 経済的な理由で早く復帰する必要がある	4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため
5. その他 ()	

問 28-1 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

問 28-4 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

(1) 母親

1. 利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった）
2. 利用した
3. 利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）

(2) 父親

1. 利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった）
2. 利用した
3. 利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）

幼児教育・保育の無償化に関して

すべての方にかかっています。

以下の幼児教育・保育無償化に関する説明をお読みになってから、問 29 にお答えください。

3歳から5歳までの子どもたちの幼稚園、保育園、認定こども園などの利用料が無償化されます。消費税率引上げ時の2019年10月1日からの実施を目指すこととされています。

- 子育て世帯を応援し、社会保障を全世代型へ抜本的に変えるため、幼児教育の無償化を一気に加速することとされました。幼児教育の無償化は、生涯にわたる人格形成の基礎を培う幼児教育の重要性や、幼児教育の負担軽減を図る少子化対策の観点などから取り組まれるものです。具体的な手続き等については、現在検討が行われているところです。

幼稚園、保育所、認定こども園等を利用する子どもたち

【対象者・利用料】

- 幼稚園、保育所、認定こども園等を利用する3歳から5歳の全ての子どもたちの利用料が無償化されます。
 - * 子ども・子育て支援新制度の対象とならない幼稚園の利用料については、同制度における利用者負担額を上限として無償化されます(上限月額 25,700 円)。
 - * 実費として徴収されている費用(通園送迎費、食材料費、行事費など)は、無償化の対象外です。
 - * 幼稚園(4時間程度)については満3歳(3歳になった日)から、保育所については3歳児クラス(3歳になった後の最初の4月以降)から無償化されます。その他の施設等については、上記取扱いも踏まえて、検討が行われているところです。
- 0歳から2歳の子どもたちの利用料については、住民税非課税世帯を対象として無償化されます。

【対象となる施設・サービス】

- 幼稚園、保育所、認定こども園に加え、地域型保育(小規模保育、家庭的保育、事業所内保育)、企業主導型保育事業(標準的な利用料)も同様に無償化の対象とされます。

幼稚園の預かり保育を利用する子どもたち

【対象者・利用料】

- 幼稚園の預かり保育を利用する子どもたちについては、新たに保育の必要性があると認定を受けた場合には、幼稚園保育料の無償化(上限月額 25,700 円)に加え、利用実態に応じて、認可保育所における保育料の全国平均額(月額 37,000 円)と幼稚園保育料の無償化の上限額との差額である最大月 11,300 円までの範囲で預かり保育の利用料が無償化されます。
 - ※ 認定こども園における子ども・子育て支援新制度の1号認定の子どもたちが利用する預かり保育も含まれます。

問 29-4 お子さんの父親の就労への意向に変化はありましたか。(1つに○)

【関連設問：問 14・問 14-3】

- 1. フルタイムでの就労を希望する
- 2. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)での就労を希望する
- 3. 就労を検討する
- 4. 変化はない

問 29-5 問 29-4で「1」または「2」に○をつけた方に伺います。就労の時期はいつごろからをお考えですか。(1つに○、当てはまる番号の□内には数字でご記入ください。)

【関連設問：問 14-4】

- 1. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい
- 2. 一番下の子どもが 歳になったところに就労したい

問 29-6 「幼児教育・保育の無償化」が実施された場合、宛名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業に変化はありましたか。(当てはまるものすべてに○)

【関連設問：問 16】

- | | |
|--|--|
| 1. 幼稚園
(通常の就園時間の利用) | 2. 幼稚園の預かり保育
(通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ) |
| 3. 認可保育園
(国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員20人以上のもの) | 4. 認定こども園
(幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設) |
| 5. 小規模保育施設
(国が定める最低基準に適合した施設で市町村の認可を受けた定員が概ね6~19人のもの) | 6. 家庭的保育
(保育者の家庭等で5人以下の子どもを保育する事業) |
| 7. 事業所内保育施設
(企業が主に従業員用に運営する施設) | 8. その他の認可外の保育施設 |
| 9. ファミリー・サポート・センター
(地域住民が子どもを預かる事業) | 10. その他
() |
| 11. 変化はない | |

すべての方にうかがいます。

問 30 自分にとって子育てに楽しみや喜びを感じる人が多いと思いますか。それとも不安や負担を感じる人が多いと思いますか。(1つに○)

- | |
|---|
| 1. 楽しみや喜びを感じる人が多い
2. 楽しみや喜びを感じるが、時々不安や負担を感じる
3. 非常に不安や負担を感じる
4. その他(具体的に: _____))
5. わからない |
|---|

問 30-1 問 30 で子育てに対して、そのように感じている理由をご自由にお書きください。

問 31 お住まいの地域における子育ての環境や支援について、いかがお感じですか。(1つに○)



問 32 あなたは、子育てに関する情報を主としてどこから(または、誰から)入手していますか。(当てはまるものすべてに○)

- | | |
|---|---|
| 1. 親族
3. 子育てサークルの仲間
5. 市役所や市の機関
7. テレビ、ラジオ、新聞
9. インターネット(市のHP)
11. コミュニティー誌
13. 情報の入手先がわからない
15. 情報は必要ない | 2. 隣近所の人、知人、友人
4. 保育所、幼稚園、学校
6. 市の広報やパンフレット
8. 子育て雑誌
10. インターネット(市以外のHP)
12. その他(_____)
14. 情報の入手方法がわからない |
|---|---|

